

大学生による大学生のための就活情報誌

創刊号

2012/11

TAKE FREE

# CAN

*Front Interview*

## 働く女性に聞く 就活・キャリア

巻頭インタビュー

アサヒグループ  
ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

**泉谷直木氏**

**プロが語る!  
就活のオキテ!**

就活体験記

日々進化中! 学食探検!

アサヒグループホールディングス株式会社

泉谷直木 代表取締役社長

インタビュー



## 自分で『機会』を『チャンス』に変えていくことが大事なのです

就職氷河期真っ只中、就活生の気持ちは期待よりも不安のほうが大きいことだろう。そんな折に、ホールディングスの代表取締役役にお話を伺う機会ができた。企業のトップとは、一体何をしているのだろうか。今、何を考えているのだろうか。私たちは何をすべきか。泉谷氏の温かい笑顔と明るい笑い声が、創刊号のスタートを飾る。

**現在の「就職氷河期」と言われている時代について、どのようにお考えでしょうか。**

商品の販売やサービスの提供だけでなく、「雇用」も企業の社会的役割だと考えています。基本的には若い人をどんどん採用していくべきです。一方、社員の中には二つの側面があります。一つはコストがかかるということ。社員の皆さんにはコストに見合うパフォーマンスをしてもらわなければなりません。もう一つは、経営資源であるということ。会社は人がいてこそ成り立ちます。つまり、人は企

業の資産であり、財産です。企業は社会的存在ですから、人を雇用し、財産として大事にしていくことが使命だと思います。

**「コストパフォーマンス」というお話がありました。利益をあげるためにはどのような能力を持った人材が必要なのでしょうか。**

企業の成長って社員の成長なんです。だから、私たちも若手を海外に派遣して研修するなど、社員の成長を促進できる機会を作っています。若手はそれをチャンスにどうやって成長するか、そしてどう貢献するかを求められています。「貢献」とは、例えばいかにビールという製品の品質をよくできるか、いかに市場のお客さまを増やせるかということ。そのためにもまずは、ビールのこと、会社のこと、世の中のこと、そして最先端の空気を知っていなければなりません。ですから、好奇心や向上意欲、愛社精神を強く持っていることが大事だと思います。

海外派遣という話がありました。御社は海外展開を広くされています。海外からの受け入れはあのでしょうか。また、日本の学生と違う点がありますか。

現在、アサヒグループホールディングス全体の従業員約17000人中4000人程度が海外からの人材です。日本人たちは平均的に秀才なんです。海外には、いわゆる天才型がいる。そして自ら考え自ら行動することができる。日本人は、周囲の空気を読んだり、組織の中で協調性を見出したりする能力が長けています。どちらでも大事なことです。外国人の方が「個」としての主張を持っていると思います。

**日本人の学生は、「個」としての主張をもっと持つべきでしょうか。**

「個」を持つことも必要ですが、それが本物かどうかが大事です。皆さんは、色んな情報を知っています。しかし、それは聞いた話やインターネットを通して見

たものが多いと思います。「本物感」というのは、実際に触ったり感じたり感動したりすることで生まれる。「知っている」と「実際に見てきた」とでは説得力も違います。本当に好奇心が強い人は、現場や現物を追いかけて続けているので、本物感が身についてくるのだと思います。

**具体的に、就職活動について教えてください。短い時間でやる採用面接の中で、学生のどのようなところを見ておられるのですか。**

僕たちは完璧な人は求めていません。初めから完璧な人なんていませんからね。それよりも、原石がきらりと光るような、特徴を持っている人材を求めています。「金太郎飴」ってわかりますか。あのよう、同じタイプの人が集まっている組織はだめなんです。今の世の中は難しいですから、「金太郎集団」から「桃太郎軍団」に変わらな

ければならない。キジは飛べる。サルは木に登れる。イヌには優れた嗅覚がある。そして違う能力を持ったみんなを桃太郎というリーダーがまとめるのです。ですから、「自分の強みはこれです」「私はこれに興味があります」「その目的のために今までこんなことをやってきました」、面接ではそのようなことをみています。

**就活のために、海外留学に行ったり学生団体で活動したりする人も多いですが。**

学生の面接の答え方には、パターンがあります。例えば「部活で幹部をやりました」「居酒屋のバイトでコミュニケーション能力ができました」など。海外留学やボランティアも、最近の流行りですね。確かに、学生の立場で社会を学ぶというのも大事です。だからといって、「社会に出て同じことができる」なんて、世の中を舐めてもら

ちゃ困る。世の中にはもっと難しいことがたくさんあるんですよ。行動して体験して失敗成功を重ね、できるようになっていくんです。だから、「私はこれができます」ではなく、もっと謙虚な姿勢が大事だと思います。

**取り繕ったものでは通用しないということですね。**

そうですね。作られた答えは、こちらが少し切り返すとぱっと返ってこないんです。「暗記しているんだな」とわかる。ですから、自分をさらけだし、自分の持ち味で勝負することが大事です。そうするために、「自分がさらけだすものは何か」ということを考えるべきですね。でも、やっぱり縁というのはあります。面接官と波長が合う、合わないなど。ですから、もし採用されなければ、縁がないと思ってしまうんです。みんな、失敗すると自信を無くしてしまいますが、そんな必要はありません。

んよ。今の若い人はもっと自信を持つていいと思いますね。

**ずっと気になっていたのですが、企業のトップである社長とは一体どのようなお仕事をなさっているのでしょうか。**

3点あります。まず、年間の経営計画がきちんと進んでいるかをチェックします。二つめは企業が負っている事故や災害などのリスクへの対処。三つめは、世の中がどのように変わっているかを見ています。例えば、消費税が再来年増税されるということは、来年頑張っておかないといけません。そこで来年の経営戦略をどうしていくかを考えます。過去を知り、現状を分析し、将来を洞察し、どのようにこの会社を社会的に役立つものにしていくか、常に考えています。ちなみに、僕が一つの仕事にかける時間は30分です。社長ってただ座っているだけのように見えますが、そうでないと追いつかないくらい忙しいんですよ。意外と(笑)。ですから、

『社会に出ても同じことができる』なんて、世の中を舐めてもらっちゃ困る。



は必要ですよ。

### ストレス解消法があれば教えてください。

7時には会社について、段取りと確認の時間を確保しています。一日を効率よく有意義に過ごすことで、夜「全部やったぞー」とスッキリ眠れますからね。仕事って、今年はこの実現しよう、今日はこれを実行しようと思いつながら向かうと、面白くて全く飽きないものなんです。

### そのような激務を続けながら、体を壊すことはないのですか。

人間は、気力が充実していれば体は壊れないんです。嫌々やっていたり、人間関係が上手くいかなかったりするとストレスが溜まる。これが原因で体調は崩れます。もちろん睡眠時間

### 身体的にも精神的にも、常に健康でいられる秘訣を教えてください。

少し、イメージしてみてください。一日一袋砂袋を背負っていくと、歩くのがしんどくなってきますよね。この砂袋は、物事をちゃんと考えきらなかつたり、結論を先送りしたり、他人のせいにして生まれるものです。僕たちは、気づかないうちに、自分で自分を苦しめているんです。背負う前に、どんな前へ投げていけば歩いていきます。明日は明日の別のことが起こります。ですから、今日のことは今日中に終わらせなきゃいけない。歯くいしばってでも終わらせてから眠ると、次の日が楽なんですよね。

### 私たちにも思い当たる節が多々あります……。では少し話を変えますが、企業のトップとはどうあるべきだとお考えですか。

リーダーにはいろんなタイプがあります。例えばナポレオンは、

### みんなが意見を言いやすい環境を作るために、心がけていることはありますか。

僕自身が現場に行きます。決して呼びつけません。他人の城へ呼ばれると、誰でも緊張しますし何も言えなくなりますよね。

自分の城だと目線も一緒になり話しやすいですし、資料もすぐに出ます。商品を作っているのはあくまで現場なのでですから、現場を大事にしなければいけません。出張した際に、現地の若い社員と飲むこともあります。そういうときは前もって調べておく。「娘さんは〇〇大学に行っているらしいな」とか、一言交わすだけでぐつと親しみが湧きます。同じことをやるならば、もう一步踏み込んでやろう、と思っています。また、社長室のドアは必ず開けておくようにしていますし、僕のことをみんなさん付け呼びます。

### それがリーダーとして成功する秘訣なんですね。

リーダーとして心がけていることと言えば、その人の良いところを発見して、伸ばしていくこと。美点凝視を大事にしています。人間にはできないことがたくさんありますから、できる

ことをやって成功するほうが良いですよ。そうそう、社長になるには運も大きく関わっています。運は運です。しかし、運って古くなるんですよ。運古になるんです(笑)。だから、臭くなる前に、人にあげる。そうすると、人の肥やしになる。そしたら花が咲きますよね。自分は常に謙虚に、自分が得たラッキーなこととは他人にまいていくことが大事だと思っています。

### この記事も、学生の皆さんの肥やしになればと思います。それでは、ご自身のこれからの夢や展望などをお聞かせください。

早く社長をやめて田舎へ帰りたい！(笑) 以前、山小屋を自分で作ったことがあります。もちろん木材を買ってきて作ることもできますが、僕は、自分で木を伐って作りました。やりたいうことはいつばありますよ。好奇心が旺盛な上に、自分で触って汗をかくことがしたいん

運って古くなるんですよ。運古になるんです(笑)。

### 最後に、大学生に向けてメッセージをお願いします。

四つ鍛えてください。まずは頭。知恵をつけるということですよ。人間関係をどう作るか、どう世の中をみていくか、考えられる頭を作ってください。二つめはハートです。物事は、情熱があれば頑張れます。好きなことに対してどんな情熱を燃やしましょう。三つめは、腹を鍛えてください。覚悟を決め、何事も諦めないことが大事です。四つめは、足腰ですね。歩いて、現場と現実を見るのです。そして是非、若い感性で学んだこと

を活発に発信していただく。自分を鍛えて、社会に出て主張していただく。そして、転がっている「機会」を捕まえてください。チャンスは向こうからやってきません。自分で「機会」を「チャンス」に変えていくことが大事なのです。

ありがとうございました。

### Profile

泉谷直木(いずみやなおき)。1948(昭和23)年8月9日生まれ。京都府京都市出身。1972年、京都産業大学法学部卒業後、アサヒビール株式会社へ入社。以降、広報部長、経営企画部長、グループ経営戦略本部長、東京支社長兼首都圏本部副本部長、取締役、常務取締役等を経て、2010年に代表取締役社長、2011年にアサヒグループホールディングス株式会社代表取締役社長に就任し、現在に至る。





01

advertising agent  
: Ai Yamato



03

nursing student  
: Kayoko Osawa



02

financial planner  
: Nozomi Maezaki



Front Interview

働く女性に聞く

# 就活・キャリア

## CONTENTS

- 1 巻頭インタビュー  
アサヒグループホールディングス株式会社  
泉谷直木 代表取締役社長  
**トップに訊く! 現在の就活とは**
  
- 7 フロントインタビュー  
**働く女性に聞く就活・キャリア**  
株式会社電通東日本 大和亜衣様  
日本ファイナンシャルプランナーズ協会 前崎希様  
看護学生 大澤佳代子様
  
- 14 タカノフルーツバーラー  
**知りたい! 食べたい! 季節のフルーツ**
  
- 16 **プロが語る! 就活のオキテ!**
  
- 20 特集1  
**就活体験記 ①**  
**就活体験記 ②**
  
- 24 特集2  
**日々進化中! 学食探検!**
  
- 28 ボランティア体験記
- 30 就活ゼミレポート / BOOK NEWS
- 31 編集後記

# それまで広告代理店という仕事があることすら知らなかったんです(笑)。

まず、学生時代のお話、就活のお話をお聞きしたいと思います。大和様は、現在広告代理店にお勤めですが、初めから広告業界を志望なさっていたんですか？

もともと興味があったのはマスコミ、とりわけテレビ局でした。大学時代に入っていた放送研究会にはアナウンサーを目指す人が多く、影響されて一緒にアナウンサー試験も受けていました。就活の時

期は、大手を中心に業界に関係なく見ていました。もちろんマスコミも受けましたが、エントリーシート(E.S)の段階で落ちることがほとんど。全部で八十社程度ESを出しましたが、面接まで進めたのは三分の一程度でしょうか。すごく落ち込んで、一番辛い時期だったかもしれない。そんなときにたまたま出会ったOBの方が広告代理店に勤めていたんです。



株式会社電通東日本  
大和亜衣様

早稲田大学 第一文学部卒業  
2012年 株式会社電通東日本入社。  
第二営業局アカウント室にて活躍中。



その先輩に会ったのがきっかけで、現在の業界に？

はい。先輩には、偶然サークルの仕事で知り合ってお話を伺えました。実は私、それまで広告代理店という仕事があることすら知らなかったんです(笑)。話を聞いていたら「なんだか楽しそうだな」と思って。広告業界に興味が出てきて、ご縁があつて今の会社に就職しました。先輩のおかげで今ここにいますので、とても感謝しています。

ESや面接はスムーズに進みましたか？

業界によりですね。どの業界でもESでもとても苦労しましたが、広告業界・保険業界では、面接までいければ、わりとスムーズに進むことができました。業界の雰囲気や合う合わないかは個人差があると聞いていましたが、この二つの業界は私の性格と合っていたのかな、と思います。

就活はやっぱつらかったですか？また、どのようにつらい時期を乗り越えましたか？

つらかったです。一時期は毎日将来について悩んで、食欲もなくなり、げっそり痩せてしまっていました。ちようど私生活でも上手く行かない事が重なって。面接でその相談をしてみました(笑)。なぜかその面接は受かったんですが。ざっくばら

んな事を言っていたのが良かったのかもしれない。でも、年が明けて三月、四月になると、周りが皆内定をもらっているの、すごく焦りました。まだ内定のない友達とESを添削しあったり、アドバイスをしたりして、支えあっていました。

企業を選ぶうえで、重視していたポイントなどはありますか？

いくつかあります。福利厚生や給料はもちろん見ました。他に重視していたのは、まず人と関わる仕事であるかどうか。次に、自分の人となりで仕事を動かせるかどうかですね。「人となりで仕事を動かす」というのは、例えば保険業界であれば、どこの会社も同じような保険を売っているけれど、私の事を信じて「大和さんだから」買ってくれるという可能性に惹かれました。広告代理店であれば、もちろん何かを作り出すこと自体に喜びもありますが、人と接する中で、自分の発言が活かせて、仕事になっていくところが魅力でした。…と、面接で言っていました(笑)。

大和様は、現在会社ではどのような事をされているのでしょうか？実際に働いていて、仕事の魅力はどんなところにありますか？

営業として、クライアントの広

報課やマーケティング担当の方とやり取りするのが主な仕事です。

もともとミニーハーなので、時々CMの現場に行けたり、芸能人に会えたり、イベント立ち会いが出来たりするのは楽しいです。普段は課題や情報を頂いてきて「これはこういう案件だから、社内このセクションのこの人に頼もう」というプロデューサーのようなことをしています。営業の魅力は、全部に関われるという事です。社内には多くのセクションがありますが、営業はどこでも接していますし、クライアントにも近い存在なので、営業抜きには何もできません。広告業界自体の魅力は、変化がある事。毎日同じ仕事だと飽きてしまうので。常に移り変わりがあって、新しいものと向き合う仕事は、とても楽しいです。



逆にお仕事をされていて辛いときはいつですか？

物事をうまくコントロールできないときです。何かを判断する時に自分の意見を言うことはありますが、営業が広告自体を作ることにはありません。方向性を導くことくらいです。だから、自分の意思が無いとただの伝書鳩になってしまうんです。そうすると「自分がいる意味って何だろう」「どうしたらいいんだろう」と、自分の存在理由について悩んでしまいます。

それは、どのように解消したんですか？

動き回るしかありませんでした。色んな言い方を考えて、相手の気分を害さないように、こちらの要望も聞いていただけるように。ただお金の問題となると、とても難しいですね。そこはもう、頭を下げてお願いするしかありません。こういう時に大事なのは今までの人間関係だな、と思います。信頼していただくこと、不安点を与えないことが一番の方法じゃないでしょうか。少しでも疑われていると「この人どうせいいかげんでしょ」「ってなってしまうから。だからいつもきちんとしていますから。と心がけています。そして仕事を上手くコントロールできた時には喜びを感じます。

今後のお仕事目標などはありますか？

今は三年目なので、先輩と動いている仕事、クライアントの課題や要望をお聞きしてから動く仕事、という受動的な部分がまだ大きいんです。これからは自分から「今の状況にはこういう事をしたらい」と提案できるようにしたいですね。また、ひとつの仕事を最初から最後まで仕切って出来るようになりたいな、と思っています。先輩方は、仕事面も素晴らしいですが、会話していて楽しくて、すごく若々しくて、新しい事を色々知っていて…。私の憧れですね。

これからも営業は続けたいですか？とても大変なイメージですが…。

はい、続けたいです。営業は楽しい仕事だと思いますよ！結婚後も続けていきたいくらいです。私の場合、色々なアイデアを出して形にするクリエイティブセクション、数値やグラフと格闘するマーケティングセクションなどは、人とコミュニケーションを取って信頼関係を築く営業の方が向いているのだと思います。自分の考えを上手く伝えることが出来れば、人を動かすことも出来る。確かに新人のうちは大変でしたが、きつとそれはどの部門も同じです。

慣れればすごく楽しい仕事です。人とお話しするのが好きな人には向いていると思います。

では、最後に就活生へのアドバイスをお願いします。

直接OBの人などに話を聞くことをお勧めします。その企業の事や働いている人を深く知って「この会社でこれがしたい！」というものを見つけると面接も通りますよ。何がやりたいのかをしっかりと考えて、自分の意志をもつてください。あとは、その気持ちを素直に伝えることです。私は面接の時すごく緊張してしまって、支離滅裂とんちんかんことを言っていました。その面接はやはりダメでした。会話だと思ってやってみてください。頑張ってくださいね！





日本ファイナンシャル  
プランナーズ協会  
前崎希様

神戸学院大学 法学部法律学科卒業  
国内証券会社入社 2011年日本ファイ  
ナンシャルプランナーズ協会入社。現在、  
総合教育金融経済教育課にて活躍中。

## 金融の教育を通じて 人の役に立つ仕事をしたかった。

早速ですが、ファイナンシャルプランナー（以下FP）とはどのようなお仕事なのでしょうか？また、前崎様はどのようなお仕事をなさっているのですか？

FPは、お金に関する相談や提案をする仕事です。お金に関する様々な知識を身につけ、皆さんの生活設計などのサポートをしています。私は現在日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（日本FP協会）という、FP資格の試験の

実施や認定、金融経済教育の普及などを行っている特定非営利活動法人（NPO法人）で働いています。そのなかでも、特に大学生を対象とした金融経済教育の普及活動をしています。金融経済教育活動とは、皆さんにお金に関する知識を身につけてもらおうというものです。私の場合は、大学を訪問して、FP講座をご案内したり、資格ガイダンスでFP資格について説明したり、といったことをしています。

FP資格は、最近では学生でも取っている人がいますよね。FP資格とはどのようなものですか？

日本FP協会で実施している資格試験は二種類あります。協会が認定している資格がAFP・CFP®で、それに加え国家検定として、ファイナンシャル・プランニング技能士の3級から1級があります。試験は相続や不動産など、六つの分野の知識から成り立ちます。学生さんにはその六分野を幅広く勉強できる3級からの受検をお勧めします。

FPの資格は、何より生活に役立ちます。家を買ったり、相続をしたり、みなさん将来的に必ず関わってくることですよね。そのような分野の知識を学べるFPの資格は、金融関係の職業についていなくても、役立つと思います。

また学生さんだと、就職に有利かという点も気になる場所ですよね。AFPや2級FP技能士は銀行・証券・保険などの金融機関だと初めに取れないと言われるレベルのもので。また、金融関係の企業に対してのアンケートでは、FPの資格を持つていれば一定の評価をする、という企業も多いです。

前崎様は、なぜFP資格をとったのですか？また、FP協会に就職したきっかけは何でしたか？

就職活動はどうでしたか？業界は初めから金融に絞られていたんでしょうか？  
今と比べれば、少しはよかったです。思いですが、やはり大変でした。たくさんの企業を受けましたし、研究も早い段階からしていました。研究は学校の就職セミナーや企業説明会に参加して、いろんな業界を見て、といった感じでした。志望していたのは主に金融業界でしたが、いろんな業界を見てみたいと思っていたので、少しでも興味がある業界、おもしろそうだなと思った会社は説明会に参加するようにしていました。

就職活動中、特に大変だったことは何ですか？また、どのように乗り切りましたか？  
大変だったのは面接ですね。人前で話すのが苦手だったので、集団面接はすごく緊張しました。自分が言いたいなと思ったことを先に言われてしまったときに「ああどうしよう」と焦ってしまうことも多かったです。面接が上手いかなかったり、モチベーションが下がってしまったりしたときは、人に相談のりつてもらって乗り越えていました。

ご自身の就職活動を振り返って、やってよかったことや、やってあげよかったことなどはありますか？  
大学の卒業後、一度証券会社に就職しました。その会社で推奨されていたため、FPの資格を取ったんです。これがきっかけで、お金に関する知識の重要性を強く感じました。証券会社で働いている時も、「知識がなく、よくわからないまま金融商品を買ってしまった」という場面を見る機会が多かったんです。このような状況を良くしたかった。お金の知識は皆さんに持って頂きたい。だけど、お金について知る機会が少ない。どうしたらいいだろう、と考えていたときに、日本FP協会の求人を見つけたんです。

前崎様は、転職されてFP協会に入った、ということですね。最近では転職する人が多いと聞きますが、ご自身の転職についてどう思われますか？  
私の場合は、商品売ることだけでなく、金融の教育を通じて人の役に立つ仕事をしたかった。チャンスだと思い応募しました。転職したことで、その目標がかなえられてきているのではないかと思っています。一般的には、一つの会社で三年以上働いて、やっと会社の事がわかると言われていますが、その通りではないでしょうか。しっかりと働いた上でやりたい事が出てきて、目標を持って新しい業界・企業に進むというのはいいことだと思います。

やっていて良かったと思うのは、サークルです。その活動のなかで、コミュニケーション能力や人との関わりかたを少しは身につけたらいいのではないかと思います。やってあげよかったことは、新聞を読んだり、元々新聞をあまり読んでいなくて、意識し始めたのが就活間近になってからでした。もっと早い段階から読んで、知識をつけていけばよかったと思います。新聞を読んでもいれば話の幅も広がるし、色々な企業が出てくるので、業界研究にもなりますから。まだ読んでいない学生さんには、是非読んでほしいです。

ありがとうございます。では、最後に、就活生に向けてメッセージをお願いします。

大学生の皆さんには、学生のうちは学生生活を楽しんでほしいです。学生生活あつての就職なので、サークル、部活、勉強；ぜひ何かに打ち込んで下さい。資格などは+aとして取っていただければと思います。勉強にも、自分のためにもなるので、FPに限らず、興味のある資格はぜひとってください。就職活動は大変なことも沢山あると思いますが、くじけず頑張ってください。



今のお仕事のやりがいとはどんなところにありますか？

人の役に立つことはもちろんですが、新しいことに挑戦できることです。大学への金融経済教育活動は協会でも始めたばかりなので、ゼロからのスタートです。大変ですが、仕事をした分だけ成果が見え、やりがいにつながっています。また、ゼロからはじめると、自分ですべて考えなくてはいけない反面、自由にできるのも、とても楽しいです。

では、お仕事におけるこれからの目標などありますか？

その時々で求められているものに合う提案をしていきたいです。人は、

ニーズがその時その時で変わってきますから、自分自身もどんどん勉強しなくてはいけないと思います。そうして、皆さんのニーズに対して、よりよい提案が出来るようになりたいです。例えばセミナーやガイダンスなら、「こういう話が聞きたい」という要望に対して、よりよいものを提供していきたい。さらにはそれを通じて参加者を増やして、お金の知識を人々に広げていけたらいいなと思っています。

ありがとうございます。ここからは前崎様の学生時代のお話をお聞きしたいと思います。

サークルは放送局というところで、大学祭のステージ企画運営やDJ番組をしていました。学部は法学部だったので、どちらもあまり金融とのつながりがありませんでした。でも、学生時代から金融に興味があったので、漠然と「お金に関する仕事に就きたいな」と思っていました。また、同じくらい教育にも興味があって教員免許をとりました。今の仕事は教育、金融の両方に関わっているの、うれしいです（笑）



都立府中看護専門学校  
大澤佳代子様  
共立女子大学部 文芸学部卒業  
1996年 外資系IT企業入社。その後、国内  
経営コンサルティング会社、外資系医療  
人材紹介会社、国内病院経営コンサルティ  
ング会社、国内医療人材紹介会社と転職。  
現在、都立府中看護専門学校在学中。

## 「やるか、やらないか」 それがすべてです。

今回のインタビューは貴重な空コマの時間にありがとうございます。今さっきまで授業を受けていらっしやっただのことです。授業はかなりお忙しいんですか？

高校、大学以上に、忙しいですね。私は大学四年間、いったい何をしていたのだろうというほどです。来年は病院実習をしつつの就職活動ですし、国家試験もありますからそれでも、やっぱり看護をやりたかと思つたので。自分の夢を諸々

検討した結果ですから、毎日充実していますよ。

大澤様は大学卒業後、就職、転職をされているんですね。なぜ、お仕事をやめて看護学校に入ろうと思われたんですか？

発展途上で看護をしたいと思つたからです。若いころから、国際的な援助が出来る仕事に就きたかつたのですが、英語はある程度話せても他に何ができるのか、

その努力の結果、見事合格し現在に至る、というわけですね。今の学生生活とそれまでの社会人生活では、ガラッと変わったと思うのですが。そうですね。でも、十五年間の社会生活はとても大きな学びでした。今の学生としての生活の中でも役に立っているとよく実感しますよ。例えば目上の方への対応や患者さんとの会話では、幅広い年代の方々和社会人として対応してきた経験を生かしています。

最初はIT系の会社に就職されたんですね。なぜその道に進もうと思われたんですか？就職活動中の様子などもぜひお聞きしたいです。

内定を頂いた中では、一番やりたい事に近く面白そうかな、と思つたんです。就活は壮絶でした(笑)。私たちの時代は、バブル崩壊後の超氷河期で、仕事がなかったんです。特に女子大生で文系が一番使えない、と思われていましたしね。「なんでうちに来るの?」と言われてたら何も言い返せないんです。「これから何がどこで活かせるかはわからないから、ポテンシャルを見てください」というアピールしかできなかった。それがうまく響いてくれたのが、最初に勤めたIT系の会社だったんです。内定を頂いた後も就活を続けて



いました。後から内定が出た所の方がいいと思うとそちらに移ることを繰り返して、四年生の一月、卒業ギリギリまでやっていました。「求人がある限り一番納得できるところに行きたい」と思っていたから、やめなかつたんです。実は、最終的に就職した会社は、夏の一次募集ではじかれていたんです。たまたま追加募集が出た時に再チャレンジしたら、今度はトントン拍子で内定までたどりつきました。就活って、なにがあるかわからないものだから、最後まであきらめちゃいけないと思います。

そこから十五年間の、社会人生活が始まるわけですね。社会人としての生活のなかで、大切だったことは何でしょうか？人間関係ですね。どんな仕事を

と考えた時に何もなかった。「英語しかできない人間なんか必要ないんじゃないか」と思ってしまった。二十代の時はすぐにあきらめてしまったんです。最初はIT企業に就職して、そのあとは、病院の経営コンサルに必要なデータ分析や、看護師の転職相談を中心としたキャリアコンサル等をしていました。医療現場の面白さを感じたのもこのような仕事のなかです。そして、ある時、JICA(国際協力機構)で助産指導をしていた助産師さんの相談に乗る機会があつたんです。話を聞いていたら、私も、看護の道で途上で貢献できるのではないかと思いました。例えば、途上国には病院は少ないので、病気の人は一時間、二時間歩いてようやく小さな診療所にたどり着く、という現状があります。そうではなく、元気な看護師が村の中を動き回れるような環境を作りたい。その助産師さんとの出会いをきっかけに、そんな看護がしたいと思つたんです。

訪問看護のような感じでしょうか？きっかけがあつたとはいえ、とても大きな決断ですね。

そうですね。基礎は、日本の訪問看護と似てますね。ただ、日本は十分に物資がありますが、途上

するのにも大事ですし、転職活動の中でも人間関係の重要性を実感しました。色々な人とかかわる事が、人生においてすごく大切だと思えます。どんな人脈、経験が、どこで生かされるかわからないですよ。人生、上手くいかない事が続いても必ずいつかブレイクする時が来ますから、そのときの為に準備をしてください。大学四年間で、人脈を重ね経験を積んでください。ブレイクするときに、今来るかもしれないし、仕事を始めてすぐかもしれない、仕事を始めて何年もたつてからかもしれない。いつかわからないから一瞬一瞬がすごく大事ですよ。

よく新卒の人が「自分のやりた仕事じゃない」「この仕事では能力が活かしきれない」といいますがそれは自己評価なんですよ。

国ではそうはいかない。でも、うまく日本のやり方を参考に応用すれば、途上国でも充実した看護を提供する事が出来るんじゃないかと、漠然と、途方もない夢を持つたんです。そこからどんな人生の逆算を始めました。定年後に海外援助に行くことを目標に、何歳までに訪問看護の経験を積んで、何歳までに資格をとって、と。全部道が出来たんです。そうしたら、いてもたってもいられなくなつてしまつて。やろう、と決意しました。

そして現在の看護学校を受験されたんですね。社会人枠ではなく、一般枠で受験入学をした、との事。

そうですね。決意したのが、社会人枠の申し込み期限の二日前で。証明書の発行手続きなどを考えたらず絶対間に合わない。残された道は英語、数学、国語の一般受験。英語と国語は大丈夫だったんですが、問題は数学。高校生の時にサボつてた事をとても後悔しました。NHKの高校数学講座で、ひたすら勉強しました。当時の生活は仕事以外は全部数学。通勤電車の中や職場の昼休み、家でも子供が寝たら参考書開いて、つて感じでした。でも、とても充実していましたよ。

キャリアは、周りからの判断が必要だと思えます。自分では違うと思いがちでも、どうやって前向きに仕事に取り組んでいるか、が大事なんです。どんな仕事にも、絶対学ぶところがありますよ。それは、いつかどこかで必ず活かされます。同じ仕事でもいかに自分で前向きに、先々活かせるような形で取り組むかで、キャリアは全然変わってくると思えます。だから、皆さんにはどんな時でも腐らないで能動的に動いてほしいですね。

最後に今の学生にむけてのメッセージ、アドバイスをお願いします。

学生の皆さんは、自分にリミットをかけている人がすごく多いと思うんです。文系だからこの職業、理系だからこの職業、という具合にリミットカットをしてください！自分が思っている以上に可能性は広いですよ。本当は、リミットなんてありません。それをわかつていない学生の方が多いのではないのでしょうか。大学は、すごく学べる場所だけじゃありません。大学だけがすべてじゃありません。大学だけをものに仕事を必要はないですよ。「できるかできないか」で考えないでください。「やるか、やらないか」。それがすべてです。やりたい事、楽しい事に挑戦し続けてください。



## 知りたい！食べたい！季節のフルーツ

新宿高野は明治18年（1885年）新宿の地に「フルーツ専門店」を創業して、創業127年を迎えます。高品質の果物を長くお客様に提供させていただくために、果物専門店として長年の篤農家との取引や仕入れの努力により実現してきました。このようにタカノの果物は、産地や生産者選びから始まり、厳選された品質（熟度、糖度、外形）です。果物の美味しさを見極める専門性、美味しく加工する技術の専門性、美しく食べる情報を提供できる専門性が存在しています。

社内教育の一環としてフルーツの専門知識を学べる「フルーツ塾」は、1年間フルーツの

る努力と技術によって生み出された地球の宝物です。旬があり季節感をもし出すほかの食の素材には見られないものです。

秋から冬にかけて国内のフルーツは目白押しです。りんごは、果物の代名詞ともいわれ長きにわたり日本人に愛されている果物の一つですが最近では皮をむくのがめんどくさい、ごみがでるなどと人気が少し低迷しており残念です。西洋におけるりんごはエデンの園に始まり、神話ではトロイ戦争の発端になったり、ヘラクレスの十一番目の話題になったり、ウイリアム・テルやニュートンにまつわる物語など、色々なドラマがあります。また、品種

栄養にも恵まれていてポリフェノール、レスベラトロール効果で抗酸化作用があり、若返り効果が期待できたり、ブドウ糖を比較的多く含んでいますので疲労回復効果も期待できます。

冬にむけて人気ナンバー1の苺がでてきます。元々いちごの旬は初夏でしたが、クリスマス、ケーキに欠かせないいちごは、今や冬から春にかけてが旬になりました。これは日本人がうみだした技術の賜物です。栽培技術、品種改良などが今の日本の苺をつくりあげています。好きな果物のアンケートなどをとるとほぼ苺が1位になります。かわいらしさ、食べやすさ、おいしさなどがバランスがよいからだと思えます。

歴史、栽培、品種、栄養、食べ方などの知識を習得するシステムで、試験、卒論をクリアしたものが合格します。新宿高野が長年培ったフルーツの文化をお客様に還元するという考えから始めた「フルーツカルチャー教室」も好評で現在産地とのコラボ、他企業とのコラボも含め月10回程度開催しています。

果物は、ほとんどが明治時代に始まり明治維新は、果物維新とも呼ばれ昔の水菓子ややがて果物、さらにフルーツと呼ばれるようになったのは明治以降のことです。

フルーツは、太陽、大地、雨や風など、自然の恵みをたっぷり受けて、生産者の方々によ

によってジャム、ソース、ドレッシング、パイ、タルトなど加工しても美味しくいただけます。

秋の果物として欠かせないぶどうは、最近人気があがってきました。ぶどうは、香りの高い緑色が美しい「マスカットオブアレキサンダー」甘みが濃厚な「巨峰」が有名ですが、ここところ新品種が出てきて話題を呼んでいます。傾向としては、香りのある皮ごと食べられる品種が人気で、おすすめは、「シャインマスカット」「瀬戸ジャイアンツ」「ニュービーオーネ」「ナガノパール」などです。ぶどうは栽培するのが大変むずかしく、普段当たり前

に思っているぶどうの三角形の形は、生産者の技術により実現しています。ぶどうは、成分

風邪の予防になり、風邪をひいて弱ったときにも効果的でしょう。また、美容効果も話題のセラゲンを生成するのにビタミンCが不可欠です。是非食べたいですね。苺は、そのまま食べる他、生クリーム、マスカルポーネチーズなどとあわせても美味しいです。また、イタリアで時々みかける食べ方で苺にバルサミコ酢+バナナアイスクリームもおすすです。

果物には、物語があり、品種、栽培、栄養、食べ方など探っていくと色々広がります。是非、これを機会に旬の果物をお召し上がりください。きっとその香り、甘さと酸味、色や形に魅了されるでしょう。

おいしさはいつも新宿から

株式会社新宿高野 株式会社タカノフルーツパーラー  
東京都新宿区新宿3-26-11 ☎ 0120-262-084

<http://takano.jp/>



人気業界だけじゃない! 隠れた成長業界!!

# 就活のプロがいま注目している業界は、ズバリ...



## 食料ビジネス

**世**界の人口は、ここ10年程、毎年約7千万人ずつ増加している。この人口増加に伴い、食料危機が懸念されている。食料、というと、一般には食品メーカーや飲料メーカーを思い浮かべがちだが、それだけではない。ここで注目したいのは農業関連の会社である。具体的には、農業機械や化学肥料を作る会社が挙げられる。

学生はあまり注目していない地味な業界だが、日本企業は高い技術力を持ち、海外展開する企業も多いため、これから伸びてくるのではないかと。他にも、大量の食料を作り出すために農薬や殺虫剤メーカーも重要になってくる。



*food*

## 水ビジネス

**海**水を真水にする、汚れた水をきれいにするのが水ビジネス。2025年には、世界で86.5兆円規模に成長するといわれている。現在中東には多くの「水」を作り出すプラントがあるが、そこで使われている製品は日本の企業のものが多い。例えば、水をろ過するためのフィルターはもともと繊維業界で使っていた技術の応用であるし、海水を汲み、フィルターへと運ぶポンプや、錆びない金属であるチタンにも、日本の産業が多く関わっている。水ビジネスには日本の総合商社の進出が有名だが、それだけではないということだ。既存の会社がこれまでの技術に応用して、水ビジネスというくくりに入ってくる。



*water*

## 鉄道

**鉄**道はCO<sub>2</sub>が排出されない。これからの環境問題に対応していくためにも、鉄道業界は期待できる。インド、中国、なども鉄道を整備しようとしているし、タイなど東南アジア諸国も、現在の深刻な渋滞問題解決の為に、鉄道を整備していく可能性が考えられる。グローバルな展開が期待できる業界だ。



*railroad*

# プロが語る!

# 就活のオキテ!

これから伸びる会社は? 業界は? それってどうすればわかるの?  
就活生ならだれでも知りたい疑問を解消するため、最近の就職状況に詳しい、「東洋経済HRオンライン」編集長田宮寛之氏に直撃取材してきました。



田宮 寛之 (たみや ひろゆき)

「東洋経済HRオンライン」編集長。  
1987年明治大学経営学部卒業後、ラジオたんぱ(現・ラジオNIKKEI)入社後、東証記者クラブで株式、債券、為替などのマーケット取材を担当。米国ウイスコンシン州ワバン高等学校「Japanese class」の教員経験を経て、1993年東洋経済新報社入社。自動車、生保、損保、食品、住宅、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、外食などを取材し「会社四季報」「就職四季報」などに執筆。  
『週刊東洋経済』編集長、2007年「オール投資」編集長などを経て、2009年、就職・採用・人事などの情報を発信する「東洋経済HRオンライン」を立ち上げて編集長となる。  
『週刊東洋経済 就活臨時増刊号』編集長も務め、2011年に「就活は3年生からでは遅すぎる」2012年に「親子で勝つ就活」を刊行。企業側の採用事情、学生の就職問題に精通し、学生、父兄向けに講演なども行う。ポットキャストラジオ「みんなのらじお」で学生に就職アドバイスをする番組を配信中。



親子で勝つ  
**就活**  
わが子が内定を勝ち取るための80のポイント



就活は  
3年生  
からでは  
遅すぎる!

*Check!*

# 女子学生の仕事選び

一般職？ 総合職？ 女性に優しい会社って、どうすればわかるの？  
そんな疑問に答えて頂きました。



宣伝になってしまいますが(笑)、就職四季報女子版を見てみてください。見てほしいのは、女性の役職者数と、最高役職。どれくらい重要な仕事を任されているかということがわかります。企業によって全く違い、男性中心の会社というものは確かに存在しています。ここを見れば女性が活躍できる会社か？という事がわかりますよ。

ただ、役員者数が少ない=女性に優しくない、というわけではありません。女性の役員は少なくても、福利厚生がしっかりしていて、結婚・出産後も長く勤めることができる会社(定着率の高い会社)もあります。男性に負けず、重要なポストについてバリバリ働きたいのか。転職などを気にせず、コツコツやっていきたいのか。自分が今後どう働きたいかは人それぞれです。自分の生き方に合っている企業を選択していきましょう。

注意したいのは、一般職だからといって、楽な仕事ばかりではないということです。一般職といえば、お茶くみ、コピーとりといったイメージを持つ方も多いかもしれませんが、最近は限定された仕事の中で高いレベルを求められることが多くなっています。転職が無く、仕事への責任が少ないぶん給与は総合職には劣りますが、一般職も正社員ですから、雇用自体は安定しています。

福利厚生は皆さん気にすると思いますが、その利用者数も重要です。素晴らしい制度があっても利用できないのでは意味がありませんから、産休や休暇の取得者数も併せて見ておきましょう。

Good Luck!



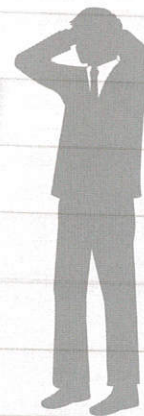
## 就活生が陥りやすい

# 3つの罠



### 1 『人気企業ランキング』は気にしすぎるな!

人気企業ランキングは、学生へのアンケートが基になっている。学生に人気の企業=優良企業とは言い切れない。過去、ランキング2位だった某大手航空会社は、その1年10カ月後に会社更生法の申請を行った。簡単に言ってしまうと、倒産したという事。逆に、大手コンビニやファストファッションなど、ランキングに名も挙がらなかった企業が20年後には日本を代表する大企業になっていることもある。



### 2 『社会貢献』に囚われるな!

最近の学生に良く見られるのが、「社会貢献をしている会社で働きたい」という傾向。しかし、会社は法人税を納め、サービスを提供し、雇用を創出する。つまり、存続しているだけで社会貢献になるのだ。「社会貢献しなくてはい」と思いこんで、仕事の選択の幅を狭めてしまうのはやめること。どうしてもしたいなら、休日にボランティアを。



### 3 自己分析をやりすぎない!

もちろん、自己分析は必要。ただし、自己分析ばかりしていて、業界研究・企業研究をおろそかにしないように。また、自己分析をもとに職種を選ぼうとする人がいるが、そもそも自己分析とは、面接の時に手際よくこたえられるよう、自分の考えや経験を整理するためのもの。自己分析に何カ月もかけるよりは、もっと外に出て、OBOGや社会人と会うほうが有益だろう。



Q5

エントリーシートは何社くらい出しましたか？  
そのうち最終面接、内定は何社でしたか？

ESは20社程度だったと思います。最終は2社で、内定は1社でしたが、一番最初に内定もらった会社に決めたので長く続けていればもう少し数が増えていたかもしれません。

Q6

OB/OG訪問は何件くらいしましたか？  
また、したほうがいいと思いますか？

2件しました。OB/OG訪問してその会社に行きたくなくなったので、良かったのかもしれません。1、2件してみるのもいいと思います。



Q7

面接や、エントリーシートを書く上で、  
どのような事に気をつけていましたか？

ESは自由記述が好きで、絵を書いたり楽しんでいました。文章の時は数字を使う事を意識していました。面接は目を見開いて話す事と、質問されたことに対して考えがまとまっていなくても、すぐに話し始める事を意識していました。

Q8

面接で印象に残っている質問はありますか？

「井上真央に似てるって言われたい？」と聞かれて、「そんなほめてもなんでもませんよ♡」と答えたら笑いが取れたことです。また、よく「肝が据わってるね」と言われました。緊張しまくってたんですけど、表情に出なかったようです。



Q9

辛かった事や、それをどう乗り切ったのか、  
教えてください。

ESをギリギリまで書いていたので、ツラかったです。その時は睡眠時間を削り、朝まで好きなマンガを読んでストレス解消していました。面接で東京に来た時は、夜は時間があるので友達と飲んだり、たくさん遊んでいました…。

Q10

これから就職活動をする大学生に向けて  
アドバイスをお願いします！

就活をしていると、この世の終わりかというくらい思いつめながらやっていると人を見かけますが、そのくらい感じは面接にも出てしまいます。もっと気軽に楽しく、楽に考えて就活に臨んだ方がいいと思います。あまり気負わずがんばってください!!

# 就活体験記

入社したての先輩に、就活について訊きました！  
ホンネがちらほら見えてくるかも……

## [file①]文具業界内定]

Q1

なぜ、現在の会社・業界を選ばれたのですか？

自分の好きな“もの”や“コト”にかかわっている会社という事を軸に会社選びをしていたので、業界にはこだわっていませんでした。現在の会社は、新規事業でしたが自分の好きなもののひとつである「子ども」に関わるビジネスをしていたので選びました。最終的に決断した理由は、一番最初に内定をもらえたからです。

Q2

入社してみて、良くも悪くも、  
想像と違った点はありますか？

就職する前は、「会社」という単位で、雰囲気や風土などを考えていましたが、実際入社すると「部署」単位で全然違う雰囲気や風土をもっていました。何百人、何千人もいるのでよく考えれば当たり前のことなのですが、実際入社して配属されてからではないと分からないことだと思います。

Q3

企業研究・自己分析はどのように行いましたか？

企業研究は学校に来ていただいた企業のセミナーに参加する、インターネットを使いHPで把握、レベルの事しかしていませんでした。自己分析はしていません。

Q4

学生時代はどのような事を行っていましたか？

学生時代は部活やバイト、サークルの立ち上げ、ゼミ、アルバイトなど、今よりも睡眠時間がないくらい活動して、遊んでいました。ESに関しては大体全ての活動のエピソードを書いて出してみましたが、アルバイトでミニコミ誌の編集長をやっていたことは一番受けが良かったです。



Q6 面接でのエピソードを教えてください。

「自己紹介と志望動機を教えてください」と言われて、自己紹介のつもりでその業界を目指す理由を話したところ、それを志望動機だと受け取られてしまい志望動機が言えなかった事です。言い方に注意しないと自分の伝えたい事を伝えきれずに終わってしまう事があると学びました…。

Q7 女性という事で、就職活動で得をした or 困った事などはありましたか？

業界によっては、女性は会社の戦力として見られていないと感じる事は多々ありました。バリバリ働きたいと主張したら、「それなら他の会社に行けば？」とされている友達もいました。

Q8 辛かった事や、それをどう乗り切ったのか、教えてください。

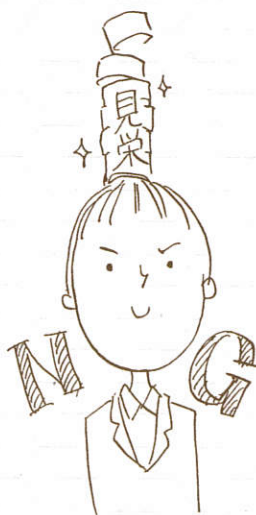
初めのうちは、自分を大きく見せようとして自分を飾って話さなくてはいけない就職活動に違和感があり辛かったです。面接を経験する中で、自分が素で話せた面接がどんどん先に進み、「素の自分がいい」と気付いた事で乗り越える事ができました。面接が進まない、ESが通らない、など色々悩む事がありましたが、その時は先輩や友達と話す事で気持ちを落ちつけていました。悩んでいるのは自分だけでは無いので、色々な人と話す事が辛い時期を乗り越えるためには大切だと思います。

Q9 情報はどのようにして集めていましたか？

就職活動の情報サイトを利用していました。また、友達とスケジュールを見せ合い情報交換をしていました。インターネットでは色々な情報が横行しています。見ると辛くなる情報や、信頼性の無い情報も多いので、気にしてしまう人は見ない方がいいと思います。

Q10 これから就職活動をする大学生に向けてアドバイスをお願いします！

飾らず、等身大で自信を持って自分をアピールすれば、必ず一緒に働きたいと思ってくれる会社に出会えると思います。就職活動はゴールではなく、スタート地点に立つ準備です。自分が一番輝ける会社に出会えるよう、頑張りすぎず、頑張ってください。



[file②;出版業界内定]

Q1 なぜ、現在の会社・業界を選ばれたのですか？

会社の企業理念に深く共感した事。また、その目標に向かって自分が働き・成長する姿が想像できたから。その他にも、会社と社長の雰囲気が良かったとか色々あります。

Q2 企業研究・自己分析はどのように行いましたか？

企業研究はHPを見て、雑誌を読み込んで行いました。自己分析は、自分年表を作り自分が昔から大事にしてきた事や、どんな事で喜びを感じるのかを見つけました。また、友人や親や先生に他己分析をお願いしました。

Q3 OB/OG訪問は何件くらいしましたか？

OB/OG訪問はしていません。会社の雰囲気を掴むためにもできるならばした方がよいと思います。

Q4 面接や、エントリーシートを書く上で、どのような事に気をつけていましたか？

面接の際に心がけていたのは絶対に嘘を付かないという事、笑顔で受け答えする事です。エントリーシートを書く際に気を付けていたのは、簡潔にわかりやすく書くことです。

Q5 面接で印象に残っている質問はありますか？

挫折した経験を聞かれた時「センター試験で大失敗した事です。」と答えたら、「じゃあ大学落ちたの?」と聞かれ、「いえ、二次で挽回して受かりました」と答えたら、「挫折してないじゃん!」と言われた事があります。(笑) もちろんその面接は落ちました。挫折を感じた事が無ければ、正直にそう言うべきです。



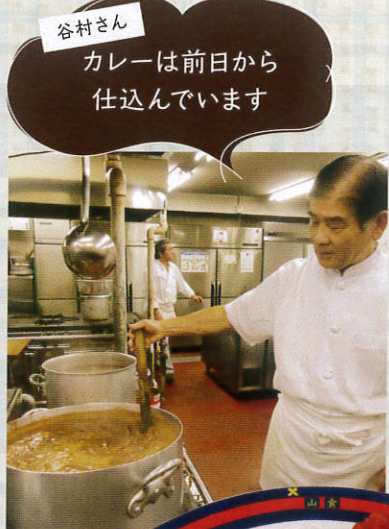
## 慶應義塾大学

慶應義塾大学三田キャンパスには、全部で3つの学生食堂がある。中でも今回は、伝統ある「山食」取材した。

山食のおすすめメニューは「カレーライス」(310円)。なんと、昭和12年からレシピを変えていないそうだ。お客さんの半分はカレーを注文し、わざわざこれを食べに訪れる卒業生もたくさんいる。ちなみに火曜日はカレーではなくハヤシライスだが、これも人気メニューの一つである。

歴史・伝統・手づくりをモットーに、変わらぬ味を提供し続ける山食。ぜひ食べにいらしてみよう。

山食  
平日 10:30~16:00  
土曜 10:30~14:00  
三田食堂(生協)  
平日 10:30~16:30  
土曜 11:00~14:00  
ザ・カフェテリア  
平日・土曜 11:00~14:00



谷村さん  
カレーは前日から仕込んでいます



伝統のカレーライス(310円)はルーから手作り

ポーク角煮(500円)はボリュームたっぷり

日々進化中!

# 学食探検!



シェフおすすめ、白身魚のキノコバター包み焼き(400円)

シェフ  
おいしいメニューをそろえてお待ちしております!



ニューオープンのSUBWAY

## 青山学院大学

この春から新しくオープンした、新校舎17号館1階のカフェテリア。現在愛称募集中のこと(11月上旬決定予定)。全メニュー 400円均一。メニュー数は8つではあるが、週替わりラーメンや日替わりランチが豊富で、毎日食べても飽きない学食である。17号館のコンセプトはズバリ「ヘルシー&ベジタブル」、一方7号館は「スタンダード&ノスタルジー」で、その日の気分で食べたいものを選ぶことができる。

ちなみに、10月より7号館学食にSUBWAYがオープン。学外よりちょっぴりお安いメニューもあるのでおすすめ。

7号館(総研ビルB1)  
9:00-20:00  
17号館  
9:00-17:00





早稲田大学ならではのメニュー  
大隈定食 (500円)

デザートもしっかり  
揃っている。写真は  
抹茶のモンブラン  
(250円)



Waseda University

## 早稲田大学

2階はカフェテリアスタイルで、グラム売りのピュッフェ (100g/130円) は、外国人の方々にとても人気。早稲田大学生協の組合員になれば、カレーを180円で食べることができる。3階はフードコートスタイルで、特選ハンバーグ丼や鉄板焼きなどが人気のメニュー。ケーキなどデザートも充実している。

食堂は大きな窓から景色が見えるようになっており、静かなBGMも流れ明るく穏やかな空間。校舎からは少々離れた場所にあるため、それほど混雑もないのでおすすめ。



高橋さん

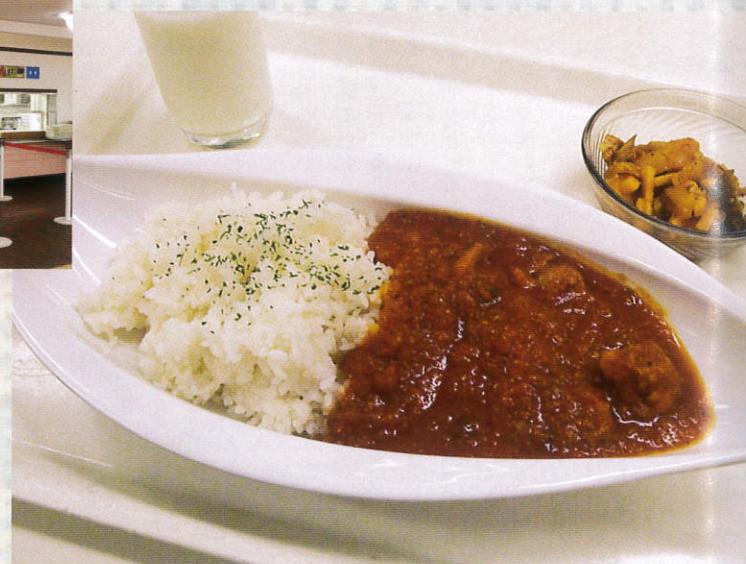
ゆったり  
くつろげる場所づくりを  
心掛けています！

大隈ガーデンハウス(生協)

2階  
平日 10:15~15:00/  
土曜 10:15~14:00  
3階  
平日 11:15~19:50/  
土曜 11:15~15:00



お昼時には広い学食が満員に



インドカレーセット (450円)

ビーフシチューライス (400円) は  
雑誌や新聞にも取り上げられている



甘辛い味付けの  
とり重 (430円) も人気。



山瀬さん

新メニューの考案も  
行っています

Kokugakuin University

## 國學院大學

今回はメモリアルレストランにお邪魔した。一番人気、おすすめメニューは「ビーフシチューライス」。しっかりビーフの入った本格派メニューが400円はととてもお得 (サラダ、スープ付)。トルコライス (450円) は昭和40年頃にあったメニューだが、卒業生の要望もあり復活した。学生に人気のとり重 (430円) は、ボリューム満点だが重たすぎず、女子にもおすすめ。被災した國學院大学学生のために作られた、震災復興支援メニューの「日替わりランチ」(400円) は、1食につき50円が復興金として寄付される。

BGMはいまどきのJ-POPがかかっており、賑やかで明るい学生食堂だ。ホームページでは日替わりメニューもチェックできる。

3号館

1階 和 (NAGOMI)  
10:30-20:00

2階 メモリアル  
レストラン(生協)  
10:00-20:00



Sophia University

## 上智大学

今回は、学生の間で「9カフェ」と呼ばれる9号館のカフェテリアを取材した。座席数は462席で、一日の利用者数は約800~900名ほどだそう。10月からメニューがリニューアルされ、特にどんぶりの種類が増えたとのこと。中でも、「インドカレーセット」(450円) は目玉メニューで、実際にインドの方がカレーを作っており、エスニックなサラダとラッシーがチャイがつく本格的なセットだ。定番メニューとしては「焼き鳥丼」(350円) が人気。カフェテリアには喫茶コーナーが併設しており、こちらは16:00まで営業しているのでゆったりくつろいでいける。

2号館 銀座スエヒロ  
10:00-19:00  
9号館 LEOC Rainbow  
11:00-15:00  
11号館 ラウンジ  
10:50-19:00  
ホフマン・ホール喫茶室 サブウェイ  
9:00-17:00



日々進化中!

# 学食探検!

# 企業分析の原点とは

～これからの会社の見抜き方～

2012年  
12月12日(水) 17:00~19:00

場 所: 学士会館

東京都千代田区神田錦町3-28 TEL.(03)3292-5936  
地下鉄都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線  
「神保町」駅下車A9出口徒歩1分  
東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口から徒歩5分

参加費: 無料 / 対象者: 大学生30~60名



内容

第一部  
会社の未来が解ける会社四季報の読み方  
第二部  
浮かぶ業界の内定を勝ち取るためのポイント

講演

「東洋経済HRオンライン」編集長

田宮 寛之氏

経歴: 『会社四季報』『就職四季報』『就活四季報女子版』などに執筆。  
『週刊東洋経済』編集部、『オール投資』編集長などを経て、2009年  
「東洋経済HRオンライン」を立ち上げて編集長となる。『週刊東洋経  
済 就活臨時増刊号』編集長も務め、2011年に『就活は3年生からでは  
遅すぎる!』2012年10月に『親子で勝つ就活』を刊行。

就活のプロが教える、少人数の「就活ゼミ」で  
内定獲得に一步近づく!

お申込み  
方法

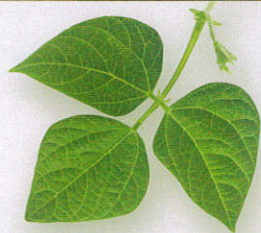
参加ご希望の方は、QRコード読み取りまたは  
下記ホームページよりお申し込みください。

【株式会社キャレンハウス公式HP】  
<http://www.carenhouse.co.jp/>



主催: 大学・高校研究会 / 企画: 株式会社キャレンハウス  
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-21-5 TEL.03-3251-8616 / FAX.03-3251-8610

## ボランティア体験記



2011年3月11日、東北地方を中心とする東日本に未曾有の大震災が起きてから一年半が過ぎました。被災地のために大学生として今出来ることは何かあるだろうかと思ひ、青山学院大学の学生ボランティア団体「青山学院大学ボランティアステーション」の活動に参加してきました。

今回の活動は、宮城県塩竈市の松島湾の内側にある浦戸諸島における経済復興支援・教育支援です。一陣から六陣までの班が各一週間、合わせて約一ヶ月半取り組みました。私が参加した一陣では、浦戸諸島にある桂島という人口200人程度の小さな島の経済復興ボランティアと被災地塩竈市の小中学

生に勉強を教える教育ボランティアの2グループに分かれて活動しました。

経済復興ボランティアチームでは、震災からの復興に合わせて少子高齢化問題を深刻に抱える桂島に対して大学生として出来ることを取り組みました。活動初日、二日目は桂島で盛んな海苔産産業を手伝いながら、島の人たちとの交流を深めました。三日目以降は、自ら島を回り、島の人があんなことに困っているかを伺い、スタッフ同士で毎晩アイデアを出し合い、最終日にはひとつの経済復興策を島民に提言出来るようにまでなりました。教育ボランティアチームでは、本土に渡り被災地の小学校に赴いて現地の子供にスタッフが勉強を教え、特別学級の「けやき学級」の生徒や保育園のお手伝いをしました。

けやき学級には、学力が追いつかない等の理由で不登校になってしまった子供の他にも、震災の傷によって不登校になってしまった子供などが在籍しており、最初は接し方に苦労しました。しかし、日を重ねるごとに心を開いてくれるようになり、一緒にオセロや将棋などをするまでに心を打ち解けてくれようになりました。



今回、被災地の方々の思いはもろろんの事、周りのスタッフの姿勢にも大きな感銘を受けました。彼らは常に復興に対する熱意と自分個人の力の小ささとの間で葛藤していました。時には、周りから「偽善者だ」「そんなこと意味無い」と容赦のない批評に晒されることもありましたが、復興の手伝いをやめませんでした。薄れることのない熱意をもった仲間たちと活動できたことを誇りに思います。高い志を持った方々がより多く駆けつけて、一日でも早く被災地の方々が元の暮らしを取り戻せるよう心から祈っています。



## 編集後記

「就活って、なにすればいいの？」そんな素朴な疑問から、今回の制作活動は始まりました。弊誌は今号が創刊。全てが初めてで手探り状態でした。同時に、プロの仕事の偉大さを実感。普段何気なく見ていた雑誌や新聞も、まったく違ったものに見えました。勿論、そのような媒体には遠く及びませんが、少ないスタッフで精いっぱい頑張らせていただきました。学生として同じ悩みや不安を抱える皆様に、少しでも何かを届けられたらと思います。

未熟な学生である私たちが、このように一つの冊子を作り上げることが出来たのも、周囲の方々の支えあっての事です。今号を発行するにあたり、多大なるご支援、ご協力を頂いた各方面関係者の皆様、取材を快くお引き受け下さった皆様、編集スタッフや顧問の皆様、そしてこの冊子を手にとってくださった全ての皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

慶應義塾大学三年 泉澤真由  
青山学院大学三年 遠藤なつみ



### キャンハウスとは？

キャンハウスは、「交流」「就職」「国際性」をテーマに、広報誌の発行、就職セミナーの開催、国際交流イベント等を通し社会・大学生・高校生の交流の架け橋を目指して1990年より活動しています。セミナー等の開催はホームページでもお知らせしています。ぜひ「キャンハウス」で検索してみてください。

### Information

CANでは、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。次号発行の参考にさせていただくため、特に話題になったことやあなたの身近なニュースもお寄せください！

E-Mail: info@carenhouse.co.jp

大学生による大学生のための就活情報誌  
CAN(キャン) 創刊号(2012年11月)

発行：大学・高校研究会  
会長 雀部 博之(前 千歳科学技術大学学長 元 理化学研究所生体高分子物理研究室主任研究員、国際フロンティア研究システムナノ有機フォトニクス材料研究チームリーダー)

制作：株式会社キャンハウス  
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-21-5  
TEL: 03-3251-8616 FAX: 03-3251-8610

取材協力：株式会社キャンハウススタッフ  
辻 香菜子(上智大学1年)  
吉田 洋晃(青山学院大学2年)

監修：清水 正貴(株式会社キャンハウス顧問)

デザイン：飯島 玲子(≒151)

印刷：日商印刷

編集：株式会社キャンハウススタッフ  
泉澤 真由(慶應義塾大学3年)  
遠藤 なつみ(青山学院大学3年)

本紙についてのご意見・ご感想は  
info@carenhouse.co.jpまでお送りください。

## 就活ゼミレポート



### 株式会社 博報堂PR戦略局公共政策推進部 桐明真之氏によるご講演

今のお仕事は毎日が学祭のようで面白いという桐明氏。そんな素敵な就職をするために、今何をすべきか。大事なものは「自己分析」。何枚かのESや数分の面接で、その人の全てを図ることは難しい。けれども、自分と全く同じ人なんて他にはいない。「生まれたときから今に至るまで、徹底的に振り返ってみてください。いつ、誰に影響を受けて、何を学び、今何をしているのか。見直せば見直すほど、新しい発見があります」と桐明氏はご自身の体験を基に語ります。最後は、博報堂の人事部にこっそりインタビューをしたんだよね、と独自の「面接あるある」調査結果など教えていただき、リアルな就職活動を垣間見ることが出来ました。

キャンハウスでは、就職活動に向けて随時セミナーを開催しています。皆さんのご参加をお待ちしております。

この夏、第1回就活ゼミを開催しました！「就活に向けて今知りたいこと」をテーマに、二人のゲストの方をお招きし、30名弱が参加しました。会場は神保町学士会館。厳かな雰囲気漂う歴史ある会館です。

### 日本ファイナンシャルプランナーズ協会 池俊夫氏によるご講演

人の一生には、どれくらいの支出があるのか。賄うために、どれくらいの収入が必要か。漠然としか考えたことのないような話ですが、「食費」「家賃」「結婚」「子どもにかかる費用」など様々なライフイベントから生まれる出費まで、具体的な金額を教えていただきました。膨大な額に驚きながらも、必要な収入について真剣に考えさせられました。就職先を探すにあたって給与は一つの目安になります。自分がやりたいことを思う存分やるためにも、夢に向かって目標を設定し、きちんと現実を見ていく大切さを学びました。

### 概要

【開催日程】2012年7月7日(土)  
【時間】12:50~16:00予定(受付開始 12:30)  
【場所】学士会館(神保町駅下車A9出口徒歩1分)  
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-2B  
TEL.03-3292-5936  
<http://www.gakushikaikan.co.jp/>

【参加費用】無料

【参加方法】メール申込

【内容】大学三年生に向けての就活ゼミ

第1部

日本ファイナンシャルプランナーズ協会

池 俊夫様によるご講演(約50分)

[テーマ]ライフプランからの仕事選び/質疑応答(約10分)

第2部

株式会社 博報堂PR戦略局公共政策推進部

桐明 真之様によるご講演(約50分)

[テーマ]今、企業が求めている人材とは?/質疑応答(約10分)

## BOOK NEWS



### 経営分析の基礎を学ぶ —企業会計から企業価値評価まで—

明るくて読みやすい、会計学入門書。普段会計学に触れる機会の少ない学生向けに、基礎の基礎から丁寧に書かれた初心者向け学習テキスト。カラフルでポップな図表やイラストが多く、「お堅い」イメージの払拭された書籍になっている。デザインや編集に携わったのは(株)キャンハウスのスタッフ。ぜひ、これを参考に学習を始めてみてはいかがだろうか。

